

人工知能×アダプティブ・ラーニング！クラウド型学習システム「すらら」
シンガポール日本人学校 中学部で「すらら」を4月より導入
一人ひとりの学力や進度の差に対応するアダプティブ・ラーニング機能により採用

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦、以下すららネット）は、クラウド型学習システム「すらら」の提供、および、運用支援を行っています。この度、シンガポール日本人学校 中学部 ウェストコースト校で「すらら」を4月より導入し、全生徒約500名が授業や家庭学習で活用を開始します。

今回、「すらら」を導入するのは、ICTを活用し、生徒一人ひとりに対応する学習を与えるアダプティブ・ラーニング（適応学習）を取り入れることで、生徒の学力を更に向上させることを目的としています。シンガポール日本人学校は、保護者の転勤やインターナショナルスクールからの編入で生徒の入れ替わりも多く、それぞれの学力や進度には差が生じています。生徒が直面している問題に対応し学力を更に向上させるためには、一人ひとりの学力に応じた指導の高度化が重要という判断から、アダプティブ・ラーニング機能を備える「すらら」を授業や家庭学習の教材として導入するに至りました。

具体的には、オンラインテストを朝学習で單元ごとに活用し、明らかになった個々の弱点を抽出、ひとりひとりに合わせた課題を設定し、復習する、といった一環の流れを「すらら」中心で行います。

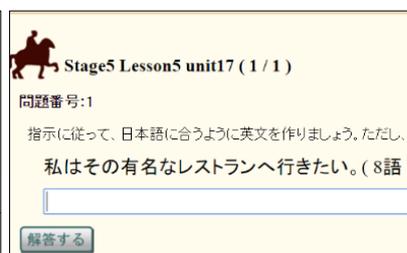
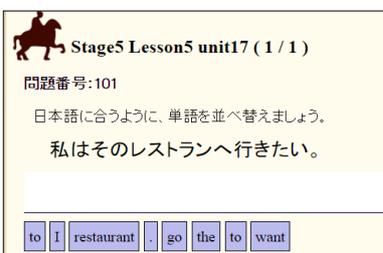
シンガポール日本人学校は、世界各国の日本人学校の中でも最大規模の学校です。20年以上も英語イマージョン教育(*)を行い、2017年4月には「高校や大学での留学を視野に入れた、語学力と発信力に自信を持った生徒」を育成するため、イマージョン教育などを行う、グローバルクラスを新設するといった、新たな取り組みを開始します。また、ICT教育の充実を図るため、全教室へWi-Fiの整備をし、全学年に「Chromebook™」を導入し、反転授業や協働的・探求的学習などの様々な授業形態に取り組んでいます。

(*) 数学や理科などの授業を外国語で行うことで外国語習得を目的とした教育

「すらら」は、海外における日本人向けの学校では2014年に如水館バンコク高等部に導入されましたが、すららネットでは、今回のシンガポール日本人学校を皮切りに、世界中の日本人学校に向けて提供を拡大していきたいと考えており、世界の日本人学校89校のうち、2020年までに20校での導入を目指しています。



▲「すらら」を試用し学習するシンガポール日本人学校の生徒



▲生徒の学力に応じて難易度を自動調整する、アダプティブ・ラーニング機能
(並べ替え問題が解ける生徒には記述式問題を出题)

■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】 小学1年生～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学（算数）・国語

【利用者数】 約 39,000 名（2016 年末時点）

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は 10 から 15 分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月 1 回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週 1 回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでの e ラーニング教材の大半は以下の 3 パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。



■「すらら」の“アダプティブ・ラーニング”機能

生徒の解答結果から独自のアルゴリズムにより苦手部分を分析・特定し、生徒それぞれに最適化した学習すべき解説や問題を自動で提示する機能。学習者が苦手分野を自分で克服できるようにする。

■ 株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008 年 8 月 ○ 資本金：13,795 万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>
- 受賞歴：
 - ・第 9 回日本 e-Learning 大賞 文部科学大臣賞 (2012 年)
 - ・Japan Venture Awards 2014 中小機構理事長賞 (2014 年)
 - ・第 2 回「日本ベンチャー大賞」社会課題解決賞（審査委員会特別賞）（2016 年）
 - ・第 8 回「千代田ビジネス大賞」大賞 (2016 年)